

囲いやま森の会 活動記録（第 365 回）

壱岐貞俊

日 時：2018.1.16（火）9時30分～12時、昼食会：12時30分～15時 晴

参加者：赤石 壱岐 佐久間 西岡 野口 野口Y 馬場 三嶋 森山 計 9名

15期生 7名

今年最初の作業日でメインが昼食を兼ねた新年会であり、里やま講座 15 期生の訪問対応を優先した。15 期生には「囲いやま」の案内の外、市提示の候補地「石川さんの屋敷林」と一緒に見学した。育苗圃の北側の森で 約 0.5ha、「市の育苗圃」の施設や道具類を使用可という好条件付きは有難い。15 期生は会の立上げは決定されており、1月 23 日に打合せ会を開催し、フィールドの検討などを予定していること。

（1）打合せ等

- ・み花課の配慮で OF の安全対策として、危険樹木の処理を実施してくれるとの情報で、囲いやまから依頼する検討を行い、高所にぶら下がっている折損枝等について、1月中に み花課に依頼してみる。
- ・2月 3 日（土）に森の入口の危険木（ハリエンジュ）の伐倒を実施予定として、里やま応援団の皆さんに手伝いと伐倒体験をしてもらうよう声掛けをする。
- ・OF チラシ第 1 版が配布され、「森めぐりツアーア」を今年は開催しないが、21 日（土）に常盤平駅改札口 10 時集合で「森へご案内」を実施予定で、第 2 版のチラシに掲載。

（2）作業

- ・伐倒実施の対象木（ハリエンジュ）の周囲、伐倒方向などを確認。

（3）自然観察等

- ・各自、森の中を散策。

（4）新年会

- ・常盤平北口「ワサビ」で新年昼食会、出席 8 名
「新年の抱負」などを語り合い大いに盛り上がった。



180106 囲いやま情報

壱岐・森山

1月6日（土）杉のかかり木を3か所処理しました。その他、暮れにケンポナシ・オオミズザクラなどに接近する枝（コナラ？）を切り落としました。

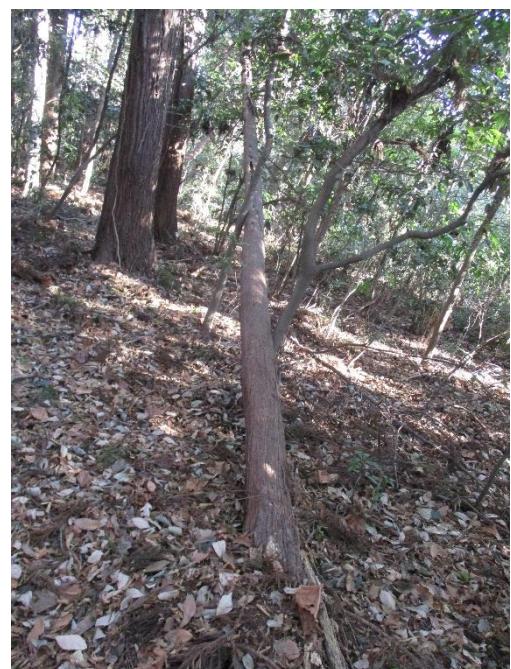
(1) 作業広場横 (胸高約 60 cm φ、約 20mH)



(2) 東側林内 (写真は処理前)



その 1



その 2

180118 囲いやま情報

壱岐

18日入口奥手左側（2月3日伐倒訓練対象木約10m南側）のハリエンジュ（約600mmφ、約25mh）が架かり木になっておりその処置をした。尚、作業エリア確保のため周囲のアオキを相当数除伐した。

（1）架かり木の様子と作業



ハリエンジュの下方の枝が写真右手の3本の木の中間のミズキの二股にはまり更に上方に伸びるハリエンジュの真ん中の枝は前述ミズキの左側のコブシの幹に寄りかかっている。処理方法はハリエンジュに回転モーメントを掛けつつ元切りし、切り口を地面に落とした後、後方へ引くこととした。

元切は難渋したが、切進むうち幹が回転しミズキの二股にはまったハリエンジュの枝は折損、コブシに寄りかかった方の枝は周辺の枝を落としながら一気に落下しけりがついた。

（2）結果



180127 囲いやま情報

森山・壱岐

2月3日伐倒訓練木の南東約20mの杉（約400mmφ、約15mh）の伐倒顛末

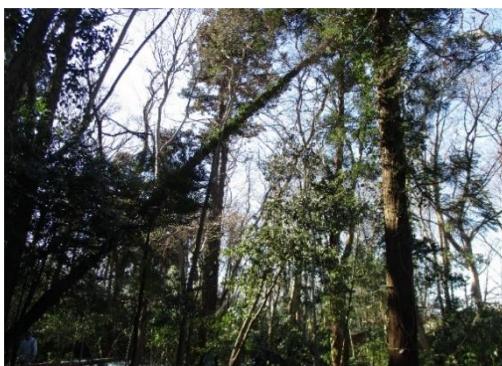
対象木をチルホールにて北方向にテンショをかけて架かり木を避ける方向に倒そうとした。チェーンソーが不調の為、鋸引き。結果はミズキ？の二股に完全な架かり木。後方に引いて架かり木解消が常道だろうが、架かり長さが7.8mもあり、鋸切りのハンディはあるが、元玉切で架かり長さを短くする方法を選択。実際は元玉切をしながら、チルホールで北側にひき引き、引き倒した。これを3度繰り返し架かりが3m位になった。そこで、チルホールによる後方への引っ張りに切り替えたところ、杉の下方に伸びる枝がミズキの股に当たり、チルホールで引いてもミズキが曲がるのみで、後方への移動が阻止された。木回しで杉の回転を試みたが、問題の枝を上方に向け、股での干渉回避を試みたが、奏功せず。

ここで27日の作業を終了。明日捲土重来を期すこととした。9時半から2時半まで、お茶1杯と粗末な菓子1個でかなり消耗したが、いろんな展開があり楽しかった。

この局面打開のアイディアは下記のようなものを作り合ったが一晩考える。

- 1) 脚立が必要だが、高枝切りを使い、問題の枝を処理する。
- 2) 枝が股をクリアするところまで杉を前方に戻し、木回しで枝を回転させ、枝の干渉を避ける。
- 3) ミズキをチルホールで引き倒す。勿論、補助的な元切をする。

反省は、元玉切りで順調に架かり長さ減少が進んだので、架かりの状況変化フォローに多少の油断があったことと、架かり部位の視界を妨げていたミズキ周りの枝葉を放置したこと等。



下写真はチルホール
盛替えの様子。

囲いやま森の会 活動記録（第 366 回）

壱岐貞俊

日 時：2018.2.3（土）9:30～13:00 曇

参加者：赤石 壱岐 西澤 西岡 野口 野口Y 馬場 三嶋 森山 山口

里やま：岡部 小野 高木 三角 石本 田村 松田 石崎

計 18 名

森の入口左手のハリエンジュ（50 cm φ、約 21mH）伐倒講習を、イベント講習会として実施。先月 30 日に大方の準備を済ませ、本日を迎えていた。多くの参加者をあまり待たすことなく、伐倒開始可かなと思っていたが、その他支障木や枝の除去・片付及びチルホール使用のためのロープ等の準備に結構な時間を要した。双股にロープ掛け：8.8m

作業の見学は対象木の高さの 1.5 倍以上の距離を置く事や張力の架かるロープの近くの寄らないことは勿論、ロープで囲まれたエリアには入らないなどの安全上の注意は高木さん、そして、今日の伐倒の狙いは、自然な倒れ方向に少しだけ反して倒すことで、技術的には受口の方向、更に弦の切り方とチルホールでの初期倒れの与え方の兼ね合いが大切と野口さん。高木・野口両氏が技術指導と合図、チェーンソーは小野さん、チルホールは壱岐がそれぞれ担当。結果的には見事に狙った方向に伐倒した。

反省会では、受け口や弦の切り方で反省点は出されたが、事前準備の周到さ・伐倒後の片付け作業まで半日でこなした関係者の頑張り等称賛の声も多かった。余勢をかけて、次回囲いやま作業日の 2 月 20 日には、北縁東側のハリエンジュを同様体制で伐倒することにした。

15 期石崎さんは応援団の連携に大変感心された様で、里やま 15 期の総勢 7 名での会の立上げに心配する声もあるようだが、今日の伐倒体験はプラスのメッセージになるとの感想だった。

その他作業：囲いやま女性軍は植生観察エリアのササ除去などに精を出した。



伐倒前 — 伐倒後



180207 囲いやま情報

森山・壱岐

先日の伐倒講習で見事な片付を体験し、有志でやった架かり木処理の後始末が反省された。今日は、遅まきながら伐倒後の片付けを目論んだ。そこで、チェーンソーを持ち出したはいいが、STIHL 製のは気持ちよく動くものの全く歯が立たず、且つオイル噴出無し、ソーチェーンの装着はOKかと思いつつ、TAKATA 製のを手に取る。これは全く起動できない。(後でカタログを見ると、起動手順に沿っていないことが分かった。そもそもオイルポンプを認識できていないし、起動前にセーフティレバー・スロットルレバーを操作することなど念頭になかった)

それで今日の作業を新倉庫裏の危険木処理の準備に変更。伐倒方向は倉庫を壊すわけにはいかないので、周囲の大木の様子から、南か南西になるだろう。各方向についてアオキやシラカシ等の支障木を整理したところで、伐倒方向を再検討、南西方向は対象木が意外に高く、伐倒で西側境界に接近することもあり南側が安全だろとなった。又、対象木が北側に傾いているので南側に牽引するのが対象木の動作制御上有利かなとも思える。



対象木周辺の常緑樹除去後の様子。

左は対象木の約 15m 南側から北西方向、右は対象木後方から西方向。

新倉庫裏エリアの杉も健全なのはなさそう。垂直に立っているようなので倒れ方向は予測できず、通路や広場に及ぶことが考えられる。従ってエリア境界のは計画的に処理することが妥当かと思う。

180213 囲いやま情報

壱岐他 2 名

先週から着手している、新倉庫裏手の危険木（コナラ 21.3mH）を伐倒した。弦の作り方が拙く伐倒方向が少し西側にずれ、折れた枝が架かり木の状態になったものの、幹が倉庫側に傾いた対象木を野口さんの指導や補助を受け何とか伐倒。OFに向け危険木の一本を除去した。
今後この倉庫裏手エリアでは溝腐れの目立つ杉に対応予定。



切り口、弦の中ぐり跡が見える



伐倒木の状況

幹上方で二股になった片方が途中で
折れている。（写真の下方参照）
折れた先は他の木に架かり木に。



180215 囲いやま情報

壱岐他 1 名

小屋裏エリアのビオネスト(新設)：南西隅のスギ(約 60 cm φ、 21 mH)を伐倒、併せて枝の処理をした。ロープ掛けは孟宗タケを利用し、約 10mH に掛けることができた。伐倒木は右手中程の当該切株の右手から左手前立木の裏手に横たわっている。



写真右はこのところ作業中に毎回出くわすが、ルリビタキか？
かなり長い時間伐倒後の杉に留まり、拙いカメラマンに対応してくれた。

団いやま森の会 活動記録（第367回）

壱岐貞俊

開催日：2018.2.20（火）9:30～12:30 快晴

参加者：壱岐 西澤 野口 野口Y 馬場 三嶋 山口 計7名

岡部 小野 高木 森田(1期) 大沢(15期) 滝川(見学) 計6名

前回に引き続き、伐倒講習で里やまの皆さんのが参加があり、北縁西方のハリエンジュ（胸高 600 mmφ、20mH）を伐倒。ロープの案内紐や周囲の片付けは、前準備できていたので、ロープ、チルホール等セットして即、ロープにテンションを掛けたらロープの結束が未済の為？ロープのかけ直しが必要になり、一日2本伐倒計画は即中止。事前確認の落ち度は実際の代償以外に精神的にも応える。やり直し後、作業は順調に進み、伐倒木の片付け迄済ませた。

事後の反省会で関係者全員が切り口を見たが、対象木の幹が同心円状ではなく結構いびつで、板根まがいの出張りがあり、受け口と同時に追い口作りは相当の苦労が見て取れた。弦の処理のせいで予定方向の少し右手に倒れたが、この辺は微妙なものと感じた。
15期の大沢さんが伐倒現場にて研修された。

更に、常盤平在住の滝川さん(84歳・女性)が看板を見て連絡の上来森された。

女性陣の、植生観察エリア笹刈作業を楽しまれたようだが、この上なく幸せそうな感想を述べられほっとした次第。

自然観察：鳥類（エナガ コゲラ シジュウカラ
ウグイス シメ ヒヨドリ）



伐倒木後処理



伐倒開始



蛾:キノカワガ



180228 囲いやま情報

壱岐他 1名

倉庫裏手エリアのスギの整理を進めています。

作業広場東側のスギが倒れたことがきっかけで、杉対策を思い立ちましたが、中央広場まで行く途中の東側には何本も知らぬ間に倒れた杉がありましたし、現在取り組んでいる倉庫裏手エリアにも数本立ち枯れのスギに気付きました。囲いやまの懸案事項の一つと理解し、取敢えず、活動への危険性の観点から倉庫裏手エリアのスギ除去に取り組んでいます。楽しむことをモットーに暇を見計らいやっていますので、苦はありません。何かとご意見もあるうと思います。何なりと仰ってください。

壱岐

過日、倉庫裏南西方向の杉を伐倒時、前方の木が杉の荷重に耐えきれず幹途中から斜めに切断され、杉本体のみならず切断片も架かり木に。

切断片(根本 10 cm φ・切断長 10mL)(右写真参照)

今日は過日やり残した切断片の架かり木処理を実施。(杉本体は 1.5m 程後方に移動し架かり木は過日解消済み)

引き続き、倉庫裏エリア南東側の杉を伐倒した。伐倒面を見ると、中央部は幹半径部を超えて腐っているようだ。受け口は深さには注意したが、片端は弦が殆ど効かない状況だった。

右は後方から、下はサイドからの写真。

根本には腐れ片の山。

木の状況はかなり傷んでいるようだ。



囲いやま森の会 活動記録（第368回）

壱岐貞俊

2018.3.03（土）9:30～13:00 快晴

参加者：赤石/壱岐/井口/木村/西澤/西岡/野口/野口Y/馬場/三嶋/松戸/山口 計12名
その他：小野/高木/上澤（7期見学）/滝川（体験） 計4名

北縁西方のハリエンジュ処理の第3弾（伐倒シリーズ）を実施。

（1）打合せ等（作業後）

①2018年度総会：4月17日（火）12時からオレンジハウスで開催。

②倉庫裏のスギ処理について意見交換。

- ・危険木処理の意味合いは理解するが、倒木作業と整備をしているところ（区画）の様相が大きく変わる印象で、植生なども変わってくるよう、事前に皆さんと意見交換をして、「実施するとよい」との意見があり、今後は作業実施前に現場での話し合いをすることにした。

③スポーツ保険 西岡さん加入。池田・岩田両氏は三嶋さんが意向確認。他は前年通り。

④井口さんより仕事多忙のため総会後に退会の意向（会計担当で尽力されている）

（2）作業

- ・北縁西方ハリエンジュを伐倒（H22m, 50cmφ）。3回連続の伐採実施（3本目）。

事前準備段階でかなり高所の木の股にロープをかけてチルホールで引張の段取りをしたところで、右側（道路側）に重心がかかっているため、左側に抑えのロープを張つて、クサビも使用する検討が必要であるとの意見交換を行った。高所のロープ調整やそれに伴うチルホールの引き長さ調整の為、数か所でロープワークが発生。受け口を作ったところで、安全監視の山口さんから、木の傾きが道路側にある故、追い口にかかる前に、対象木の道路側を切り込み、そこにクサビ打ち。更に念を入れて道路と反対側から対象木支持ロープ張り等、応援団らしい安全第一の丁寧な措置を施したため追い口にかかるまでの時間がかかり、腹が減ったが結果は狙い通りで万々歳。

（3）自然観察等

- ・今日も鳥が主で、観察できたのはヤマガラ/シジュウカラ/コゲラ



囲いやまの入口付近の景観が大分変わりました。
北側道路に傾いている樹木伐採は出来ないが、可能な範囲のハリエンジュは段階的に伐倒し、倒木危険除去



寸法測定中のワンショット